



# 東京産業保健推進センター研修案内(平成23年2月～平成23年4月)

研修の申し込みは、FAX以外に当センターのホームページから直接申し込むことができます。

当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

研修は当センターの研修室で開催しています。

ただし、会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F

TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.sanpo-tokyo.jp/>

◆認定産業医研修◆ ※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

※ 同じテーマ・講師の研修を複数回受講されても、単位の発行は1回限りとさせていただきます。

日時	テーマ	講師	単位	定員
2月3日(木) 14:00～16:00	地域産業保健センター事業について ～小規模事業場における産業保健活動～ 厚生労働省は小規模事業場に対し地区医師会の協力のもと無料で産業保健活動を提供しています。選任されていない産業医として、小規模事業場で行う産業保健活動の注意点などを解説します。	高山 俊政	生涯・専門2	60
2月8日(火) 14:00～16:00 (場所) 葛飾区金町 ※現地集合	職場巡視について ～建設工事現場実習会(シールド工事)～ 建設工事現場を訪問し、実際の作業環境・作業状況等を見学することで職場巡視における作業環境管理・作業管理についてのポイントを把握していただきます。	土屋 譲	生涯・実地2	30
2月10日(木) 14:00～16:00	職場巡視の実際とその活用のポイント ～オフィス実習編～ オフィスの職場巡視を行う際のポイントを簡単にわかりやすく解説します。また実際に事務職場での職場巡視を体験して頂き、講義で学んだことをその場で実践することができます。	内田 和彦	生涯・実地2	30
2月19日(土) 13:30～16:30	作業環境測定方法 ～測定機器の操作・測定実習～ 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の「一酸化炭素測定」に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	岩崎 毅 市川 英一	生涯・実地3	24
2月23日(水) 14:00～16:00	過重労働対策の進め方、医師による面接指導の手法 医師による面接指導の手法・・・労働者健康福祉機構から過重労働に対する面接指導のための「チェックリスト」「マニュアル」「テキスト」が出されています。この研修ではそれらを使った効率的な面接指導のやり方を解説したいと思います。	土屋 譲	生涯・更新2	60
3月4日(金) 14:00～16:00	多様化する「うつ」のケース ～社内外の協働の視点から～ 「多様化する現代のうつ」についての論議が高まってきました。診断書上「うつ病」と書かれているケースの中にもがんばらない、他罰的で他者配慮に乏しいタイプや背景にパーソナリティ障害、発達障害、適応障害等との関連がありそうなケースが散見され、対応に苦慮しています。主治医、産業医、人事、上司・同僚、家族などの関係者のどのような協働が可能なのでしょうか。ケースから検討していきます。	廣川 進	生涯・専門2	60
3月11日(金) 14:00～16:00	メンタルヘルズ指針・非健常者に対する対応・復職判定等 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルズ活動・メンタルヘルズ管理の一環です。したがって職場におけるメンタルヘルズ活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。	大西 守	生涯・専門2	60
3月15日(火) 14:00～16:00	過重労働による健康障害防止 ～エビデンス・具体的措置事例～ 「過重労働による健康障害防止」は現場の担当者にとって最も重要な課題のひとつです。本講座では関連の法制度の成立時点に遡って関係資料を解説し、具体的措置については過去の裁判事例を参考に検討・考察します。	山口 直人	生涯・専門2	60

3月18日(金) 13:30～14:45	過重労働による健康障害防止 ～関係法令・通達～ 過労死などの過重労働による健康障害を防止するため、平成18年4月から長時間労働者に対する面接指導が法制化されました。労働時間の現状など過重労働の現場を一緒に考えてみましょう。	炭山 隆	生涯・更新1	60
3月18日(金) 15:00～17:00	過重労働による健康障害防止 ～エビデンス・具体的措置事例～ 「過重労働による健康障害防止」は現場の担当者にとって最も重要な課題のひとつです。本講座では関連の法制度の成立時点に遡って関係資料を解説し、具体的措置については過去の裁判事例を参考に検討・考察します。	角田 透	生涯・専門2	60
3月23日(水) 13:30～16:30	作業環境測定方法 ～測定機器の操作・測定実習～ 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の「一酸化炭素測定」に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	岩崎 毅 市川 英一	生涯・実地3	24
4月13日(水) 14:00～16:00	産業医が実践するメンタルヘルス対策 ～職業性ストレス簡易調査表を活用したメンタル不調の把握と事後措置～ 職場のストレス要因の把握やその対応を行うために使用される「職業性ストレス簡易調査表」について、その体験、利用方法と、メンタルヘルス対策として職場で活用するための事後措置について、事例検討を含めた研修を行います。	竹田 透	生涯・実地2	40
4月18日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス対策の進め方 ～労働安全衛生法等の改正に伴う対策～ ※労働者健康福祉機構が作成したテキストを使用します。労働者のメンタルヘルスの現状を把握し、産業医によるメンタルヘルス対策の具体的な進め方について解説します。	長尾 博司	生涯・更新2	60
4月28日(木) 14:00～16:00	労働安全衛生法における長時間労働者に対する面接指導法の手法	内田 和彦	生涯・更新2	60

#### ◆保健師・看護師研修◆ No.1(実力アップコース単位認定)

※産業看護基礎コース・短縮Nコース未修了の方も受講できます。

日時	テーマ	講師	単位	定員
2月 1日(火) 14:00～16:00	うつ予防対策・自殺予防対策 自殺とうつ病の相関関係を紹介し、効果的なうつ病からの回復過程や職場での自殺予防対策のポイントについて解説します。	高岡 拓	IV-3-(4)	60
2月18日(金) 14:00～16:00	職場のメンタルヘルス対策における産業看護職の役割 1次～3次予防にわたる日常のメンタルヘルス活動において、特に困難と感じておられる場面をとりあげ、効果的な対応策をディスカッションしていきます。	錦戸 典子	IV-3-(4)	20
2月25日(金) 14:00～16:00	事例を通して学ぶメンタルヘルス不調者への対応 事例を通して、メンタルヘルスの第2・3次予防活動を自らが進めていく上での困難点をまず挙げます。そして、その支援のあり方についてグループで考え話し合っていきます。 (なお、事例は12月24日と同様のものを用います)	松島 尚子	V-4-(3)	20
3月 1日(火) 14:00～16:00	産業看護の基礎(4) ～健診データの活用(その3)～ 健診データの活用(その1)、(その2)は、1回ごとの健診データの活用について取り上げてきました。今回は、毎年実施する健診データの推移に着目した活用の仕方を取り上げます。	飯島美世子	IV-3-(3)	40

4月 8日(金) 14:00～16:00	VDT作業による健康障害とその予防策 ～作業者の心身の負担を軽減するために～ 平成14年4月策定された「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」に基づいて、事務所において行われるVDT作業の労働衛生管理、特にVDT作業者の心身の負担軽減策を中心に検討します。	伊集院一成	Ⅲ-1-(6)	60
4月11日(月) 14:00～16:00	新卒新入社員の生活習慣とメンタルヘルス対策 ～健診データのフィードバックを活用したメンタル不調の把握と事後措置～ 予防という観点からストレスマネジメント方法の指導の仕方について解説します。	松井 知子	Ⅳ-3-(4)	60
4月25日(月) 14:00～16:00	産業看護業務の事例検討 参加者ご自身が直面した事例や他企業の看護職の事例と一緒に検討することにより、日頃の疑問を解決し、これからの活動の示唆を得る場です。 日常業務の中で直面した課題や相談事例など、どの様な課題でも結構です。当日、お持ちください。	飯島美世子	V-2-(2)	10

◆人事・労務・衛生管理者研修◆ ※単位等の取得はできません。

日 時	テーマ	講 師	定 員
2月 1日(火) 14:00～16:00	うつ予防対策・自殺予防対策 自殺とうつ病の相関関係を紹介し、効果的なうつ病からの回復過程や職場での自殺予防対策のポイントについて解説します。	高岡 拓	60
2月 8日(火) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例(22) ～メンタルヘルス対策を衛生管理体制にどのように組み込んでいくか～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、メンタルヘルス対策を衛生管理体制にどのように組み込んでいくか事業所、関連部門を巻き込んで実行するための対策について、事例を通して実践ができるようにします。(参加者ご自身の安全衛生に関わる情報ネットワークを構築する為に名刺交換の時間を設けますので差し障りなければ名刺をご持参願います)	古山 善一 吉田 守	60
2月17日(木) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎(事例編) 受講者参加型の研修会 ～メンタルヘルス対策を衛生管理体制にどのように組み込んでいくか～ 他社事例を学ぶことによって、参加者の日ごろの疑問を解決し、衛生管理活動の示唆を得る場です。今回は、メンタルヘルス対策を衛生管理体制にどのように組み込んでいくか各社の実態や事例をディスカッションして労働衛生教育・研修や好事例の水平展開ができるようにします。(参加者ご自身の安全衛生に関わる情報ネットワークを構築する為に名刺交換の時間を設けますので差し障りなければ名刺をご持参願います)	古山 善一 吉田 守	20
2月22日(火) 14:00～16:00	ハラスメント対策 ～労災・指針・判例～ 精神障害の労災認定指針と、労災請求の現状を解説します。パワーハラスメントとして行政の判断が否定された裁判例にも触れます。	古山 善一	60
3月 7日(月) 13:30～14:45	メンタルヘルス関係法令・判例・概論 メンタルヘルス不調労働者に係る「事業者の安全配慮義務」、「復職判定」等に関する判例を紹介する。「メンタルヘルス指針」、「職場復帰支援」等の行政施策と企業における対策の進め方について解説する。	梶川 清	60
3月 7日(月) 15:00～17:00	メンタルヘルス指針・健常者に対する対応・体制づくり等 「労働者の心の健康の保持増進のための指針」を紹介し、職場の健常者に対する対応方法やラインによるケアのための体制づくり等について具体的に解説します。	森崎美奈子	60
3月10日(木) 14:00～16:00	部下の意欲を低下させない上司の部下対応 ～部下にとって上司は最大の職場環境～ 部下の意欲をあげる前に、まずは下げてないかを確認することが必要である。企業においてストレスの発生源は仕事そのものである。この原点を忘れて上司の行うメンタルヘルス対策は効果が上がりません。グループワーク、グループ討議を通じて考えてみましょう。	小原 新	30
3月24日(木) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例(23) ～ハラスメントを発生させない職場環境づくり～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、企業の社会的責任、快適職場環境の形成において重要な問題であるハラスメント対策について企業内教育・研修の進め方と企業事例を参考に現場展開できるようにします。(参加者ご自身の安全衛生に関わる情報ネットワークを構築する為に名刺交換の時間を設けますので差し障りなければ名刺をご持参願います)	古山 善一 吉田 守	60

3月28日(月) 14:00～17:00	これならできる禁煙サポート（無関心期編） ～メタボ対策でも重要なポイントである禁煙支援のコツを演習を交え楽しく学べます～ ※特に今回は、禁煙支援者にとって最も悩ましい「無関心期」の支援に焦点をあてます。	齊藤 照代	40
3月29日(火) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎(事例編) 受講者参加型の研修会 ～ハラスメントを発生させない職場環境づくり～ 他社事例を学ぶことによって、参加者の日ごろの疑問を解決し、衛生管理活動の示唆を得る場です。今回は、ハラスメント(パワハラ、セクハラ、モラル)が起こす問題点、対策等について、各社の実態や事例をディスカッションして、労働衛生教育・研修や好事例の水平展開ができるようにします。(参加者ご自身の安全衛生に関わる情報ネットワークを構築する為に名刺交換の時間を設けますので差し障りなければ名刺をご持参願います)	古山 善一 吉田 守	20
4月 5日(火) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例(24) ～初めての衛生管理～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、安全衛生活動の推進者(産業保健スタッフ)として、労働安全衛生法および基本的な考え方、心構え、展開方法等について、他社事例を通して具体的な展開が図れるようにします。(参加者ご自身の安全衛生に関わる情報ネットワークを構築する為に名刺交換の時間を設けますので差し障りなければ名刺をご持参願います)	古山 善一 吉田 守	60
4月19日(火) 14:00～16:00	労使で取り組む健康管理 職場の健康管理は安全活動と同様にラインで取り組むものですが、そのお手伝いをするのが産業保健スタッフです。管理監督者と従業員が協働して事業者責任である健康配慮義務と労働者の自己保健義務を果たすために、健康診断の活用や実施後の事後措置、衛生委員会の役割、健康教育・保健指導、健康支援環境の整備等について理解を深め、実現に向けて外部資源の活用も考えます。	飯島美世子	60
4月21日(木) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎(事例編) 受講者参加型の研修会 ～初めての衛生管理～ 他社事例を学ぶことによって、参加者の日ごろの疑問を解決し、衛生管理活動の示唆を得る場です。今回は、初めての衛生管理活動を実施する方々が安全衛生活動をどのように推進していくか現状把握から問題点、対策等について、参加各社の実態や事例をディスカッションして、労働衛生教育・研修や好事例の水平展開が積極的にできるようにします。(参加者ご自身の安全衛生に関わる情報ネットワークを構築する為に名刺交換の時間を設けますので差し障りなければ名刺をご持参願います)	古山 善一 吉田 守	20
4月26日(火) 14:00～16:00	快適職場づくりのすすめ ～気持ちよく働いていい仕事をする～ 快適職場調査と回答結果について解説します。	古山 善一	60
4月27日(水) 14:00～16:00	部下の意欲を低下させない上司の部下対応 ～部下にとって上司は最大の職場環境～ 部下の意欲をあげる前に、まずは下げないかを確認することが必要である。企業においてストレスの発生源は仕事そのものである。この原点を忘れて上司の行うメンタルヘルス対策は効果が上がりません。グループワーク、グループ討議を通じて考えてみましょう。	小原 新	30